

## MySQL 5.5.24 リリースノート（日本語翻訳）

### 機能の追加と変更

- **重要な変更:** レプリケーション: [INSERT ON DUPLICATE KEY UPDATE](#) は現在、ターゲットテーブルに複数のプライマリキーまたはユニークキーがある場合に、スタートメントベースのレプリケーションには安全でないとマークされる。詳細については、[16.1.2.3 項「Determination of Safe and Unsafe Statements in Binary Logging」](#)を参照（Bug #58637、Bug #11765650、Bug #13038678）。

### 修正されたバグ

- **セキュリティ修正:** Bug #64884 が修正された。
- **InnoDB: レプリケーション:** スレーブでバイナリログステートメントが再実行される際、[Com\\_insert](#)、[Com\\_update](#)、[Com\\_delete](#) の各カウンタはトランザクション終了の [COMMIT](#) ステートメントではなく、[InnoDB](#) テーブルに影響するトランザクション開始の [BEGIN](#) ステートメントによって増分されていた。そのため、これらのステートメントが複製されるのか [mysqlbinlog](#) を使用して実行されるのかの判定が影響を受けていた（Bug #12662190）。
- **InnoDB: [auto\\_increment\\_offset=1](#) で [auto\\_increment\\_increment](#) が 1 より大きく、[innodb\\_autoinc\\_lock\\_mode=1](#) の場合に、サーバに対して同時に大量の挿入を実行すると、プライマリキーを [auto\\_increment](#) に設定し、[INSERT](#) ステートメントから除外している場合でも、断続的に次のようなエラーが発生する可能性があった。**

- Duplicate entry '[value](#)' for key 'PRIMARY'

回避策として、[auto\\_increment\\_offset=1](#) または [innodb\\_autoinc\\_lock\\_mode=0](#)（“従来式”）に設定していた（Bug #13817703、Bug #61209）。

- [--bind+address](#) オプションの値にホスト名を指定し、そのホスト名が複数の IP アドレスに解決される場合、サーバが起動に失敗していた。たとえば

`--bind-address=localhost` で、`localhost` が `127.0.0.1` と `::1` に解決されると、起動に失敗した。現在、このような場合にサーバは IPv4 アドレスを参照する (Bug #61713、Bug #12762885)。

- `mysql_store_result()` と `mysql_use_result()` は、プリペアドステートメントでは使用されず、`mysql_stmt_execute()` に続いて呼び出されることは想定されていないが、`libmysqld` でそのように呼び出された場合でもエラーを返さなかった (Bug #62136、Bug #13738989)。

参考: Bug #47485 も参照。

Windows で共有メモリを使用した接続を試みると、`mysqlslap` がクラッシュした (Bug #31173、Bug #11747181、Bug #59107、Bug #11766072)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。